



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第124号編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：平成27年12月11日

講演会が西三河本部と西尾張本部で開催

(1) 11月8日(日)に岡崎市福祉会館で「CKD対策講演会 in 岡崎」が開催されました。講演のタイトル「最近よく話題になる慢性腎臓病とは何?～皆で考えよう腎臓について～」で岡崎市民病院の朝田啓明先生が講師を務めました。参加者は168名。来賓には、内田康宏岡崎市長他4名が出席しました。



来賓の挨拶をする内田康宏岡崎市長

(2) 11月15日(日)に甚目寺産業会館で「透析患者の為の市民公開講座」が開催されました。講演は「介護制度につて」、「透析食について」でした。講師は、介護支援専門員の太田雅人先生と看護師の方でした。参加者は63名。来賓には、岡本充功衆議院議員他1名が出席しました。

腎移植・CKD・骨髄バンク普及啓発イベントに参加

11月14日(土)、15日(日)の2日間、名古屋栄広場にて、腎移植、慢性腎臓病(CKD)撲滅、骨髄バンク、難病支援等を中心に「本田美奈子の{想い}から音楽と共に生命を考える～」と題して医療と音楽の融合イベントが開催されました。2年前から愛腎協も協賛し、今回で3回目となります。「生きるために生きる」テーマで啓発活動を実施しました。イベントを趣旨に賛同して頂いた、アーティストや患者会の皆様、各支援団体など多くの皆様が参加して、普及啓発活動に御尽力頂きました。



応援隊 女性アイドルグループ



愛腎協参加メンバー

名古屋市へ陳情を行い、署名書を提出する

平成27年11月17日（火）名古屋市役所本庁舎2階の会議室で名古屋市に対してNPO法人名古屋市腎友会と一般社団法人愛知県腎臓病協議会が合同で陳情を行った。腎友会側が4つの陳情項目を述べ、名古屋市側からその回答をいただきました。そして各項目に対しての質疑応答を行いました。参加者は、名古屋市側13名、名古屋市腎友会・愛腎協側11名（陳情署名結果：署名枚数1,148枚、署名筆数7,530筆）



瀬瀬健康福祉局長に陳情書を渡す
奥村名古屋市腎友会会長

■陳情項目と回答：

(1) 透析患者の医療費給付の現状維持をお願いいたします。

★回答→現在の医療制度（自立支援医療、障害者医療費助成制度）を変える予定はない。

(2) 重度障害者タクシー助成制度の改正をお願いしたい。（120枚を156枚（申請者のみ））★回答→現状維持でお願いしたい。（120枚）

(3) 広域で大災害が発生しても人工透析治療ができるように名古屋市が災害対策への取り組みに努めてください。★回答→透析患者が災害時に速やかに透析ができるように情報発信・援助等に努力していきたい。

(4) 透析患者が特別老人養護施設に入所できるように努めてください。

★回答→現在入所者数9名。医療対応型特別養護老人施設を増やして対応していきたい。

今後の予定

●12月13日（日）：広報委員会（来年発行「道標」について）

★12月26日（土）～1月4日（月）：事務局冬休み

●1月17日（日）：女性部会議（愛知県白壁庁舎内5階会議室）

●2月13日（土）、14日（日）：第81回東海ブロック会議

患者の皆さん！自立支援医療の手続きはお済ですか？

自立支援医療の手続きをしていない方の医療費は、各自治体が医療費助成として負担しています。その負担分の「しわ寄せ」が、患者全体に及ばないように申請がまだの方は、早く自立支援医療の手続きをすませましょう。（現在全体で約2割の患者が未申請）